



○ まだまだ冬が残っているところと、どんどん春が進んでいるところが同居している季節。

落ち着かないけど、何となくワクワク気分も湧いてきますね。aiko.

都市公園で自然観察会

県立春日公園での自然観察会(159回)

日時: 2025年3月15日(土)10時から12時まで
 集合場所: 公園の中央付近にある自然あそび館



春日公園2025年 3/7 アオバト食事中 撮影: 田字草

「問い合わせ先」 担当: 田村耕作 Tel 090-8220-6160(田村)

参加費 会員200円 一般 300円 生きものに関心のある方ならどなたでも

注意 各団体とも、様々な状況により、下記の予定も当日でも変更になることがあります。

詳しくは各団体にお問い合わせください。

日本野鳥の会 福岡支部 主催

※一般参加費：300 円（中学生以下無料）

問合せ先 090-8220-6160（田村耕作）

3月16日（日） **4月19日（土）**

天拝山探鳥会（筑紫野市）

時 間：9：00～12：00

集 合：天拝山歴史自然公園

3月23日（日）

久末ダム探鳥会（福津市）

時 間 9：00～12：00

集 合：久末ダム多目的広場横
駐車場（管理事務所下）

4月6日（日）

今津探鳥会（福岡市西区）

時 間：9：00～12：00

集 合：玄洋高校西側道路

4月12日（土）

大濠公園（福岡市）

時 間：9：00～12：00

集 合：ボート乗り場前

4月13日（日）

和白海岸探鳥会（福岡市東区）

時 間：9：00～12：00

集 合：JR 和白駅前の公園

4月1日（火）

県営春日公園（春日市）

時 間：10：00～12：00

集 合：音楽堂ステージ側（第5P）

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

<http://mikumikyuryo.blog107.fc2.com/>

4月5日（第1土曜日）

集 合：九州歴史資料館

第1駐車場

時 間：9：30～12：00

（早めに終わるかもしれません）

問合せ：092-920-3072

参加費：大人 200 円

コロナ対策：ブログにて確認

ブログ 「三国丘陵の自然を楽しむ会」で

[検索](#)

日本野鳥の会 筑後支部

3月23日（日）

筑後広域公園（みやま市）

時 間：9：00～

集 合：JR 船小屋駅前

問合せ：090-4516-1123（江口浩喜）

福岡植物友の会

3月16日（日）西日本短大二丈

詳細は問合せください。

中小路 香（092-864-7585）

久留米の自然を守る会

5月17日（土）

樹木の名札付け

高良山 北面コースを検討中

詳細はお問い合わせください。

問合せ：0942-43-7959（河内俊英）

ツルヨシ・シジュウカラ 三国・松永

オトコエシ 三国・松永

和白干潟を守る会

2025年3月22日（土）

定例会議

時 間：12：00～14：00

集 合：和白干潟を守る会事務所

問合せ：092-606-0012（山本廣子）

2025年3月22日（土）

クリーン作戦 と自然観察会

時 間：15：00～17：00

集 合：海の広場 駐車場なし

長靴・軍手があると便利

問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）

三国丘陵の自然を楽しむ会 観察の様子

2025年2月 私のデジカメ日誌より

今回は、2月1日(旧暦1月4日)～2月28日(旧暦2月1日) までの
デジカメ日誌です。(文・写真 本のむし)



2/3(旧 1/6)筑紫野市天拝坂
実生したクヌギが40cm程に。枯
凋性(コチョウセイ)で冬でも落葉
しない。常緑樹の名残。



2/6(旧 1/9)筑紫野市天拝坂
時折ぼたん雪が舞った。気温はさ
ほど低くないので、着地の瞬間は
結晶が見えるがすぐ溶けていく。



2/8(旧 1/11)太宰府市大佐野
この調整池で数年ぶりにハシビ
ロガモを観た。二羽で円を描き、
渦の中心の浮遊物など採餌中。



2/9(旧 1/12)筑紫野市天拝坂
餌場に来るメジロがペアになっ
た。寒さに耐え丸くなって二羽でく
つつきあって眠っていた。



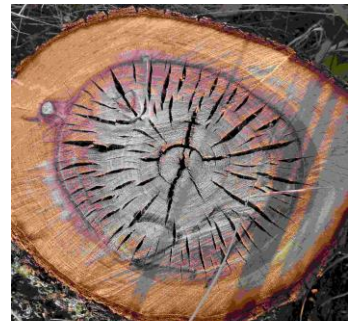
2/10(旧 1/13)筑紫野市天拝坂
三列風切羽の白帯と、頭頂部の
灰色が目立つ個体が居た。これ
が渡りのオオカワラヒワか？



2/14(旧 1/17)久留米市城島
弓頭神社の狛犬に着生した地衣
類。ロウソクゴケかチャシブゴケ
の仲間かよくわからない。



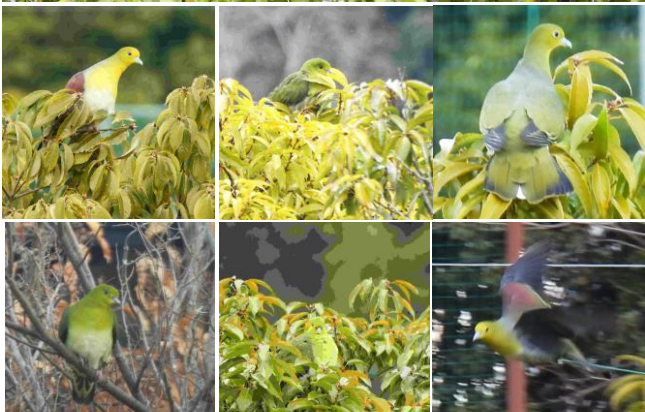
2/14(旧 1/17)久留米市東櫛原
鳥類センターの裏道の野草。黒
い実があり、切れ込みの深い葉
に鋸歯がある。何の仲間？



2/14(旧 1/17)大野城市大佐野
伐採された街路樹のクスノキ。樹
幹の真ん中に放射状のひび割れ
多数。この樹に何があった？



2/25(旧 1/28)筑紫野市天拝坂
朝日を浴びながらデデポップ
ー。最近姿が少ないと思っていた
ら、どこか近所で子育て中か？



2/8～28(旧 1/11～2/1)筑紫野市天拝坂
2/8に自宅で25+のアオバトが観察され、それ以降毎日、時間・羽数は不定
だが観られた。最大数は2/28の45羽。アラカシの梢に飛び込んですぐに潜
り込む。葉の色と同じ体色ですごいカモフラージュだ。1999年4月以降の自
宅探鳥記録はアオバトで67種となった。



2/28(旧 2/1)筑紫野市天拝坂
庭のスイセンがやっと開いた。
良い香り。しかし、ヒガンバナ科で
アルカロイドを持つので要注意。ニ
ラと間違えた食中毒が多いらしい。

春日公園自然観察会 令和7年2月15日(土)【参加者】8人【担当】、田村耕作

観察は、自然あそび館～芝生広場・調整池を巡り～噴水広場とその周り、自然風庭園の森を経て自然あそび館にもどった。

観察内容 曇り、5℃で開始。今回も木々の冬芽に注目しつつ散策した。ところが、アオバトが飛び交い、その観察から始まった。

植物 ナワシログミ、ソメイヨシノ、ユズリハ、ヒメユズリハ、ウメ、アジサイ、イチョウ、サザンカ(花)、ラクウショウウ(沼杉)、アメリカカフウ、タイワンフウ、アメリカスズカケノキ、シナマンサク、サンシュユ、ユキヤナギ、トベラ、ニシキギ、ビョウヤナギ、キンシバイ、シダレヤナギ、サンゴジュ。

野鳥 マガモ、スズメ、メジロ、カワセミ、イワツバメ、モズ、ヒヨドリ、カワラヒワ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、コゲラ、キジバト、アオバト、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、ヤマガラ、シジュウカラ、ムクドリ、ハクセキレイ、アヒル、カワラバト。

シダレヤナギの色が春めいた。

感想(参加者、その場の声)

- ・この時期、花の開花が遅いと感じた。
- ・アオバトが観察できて、うれしかった。
- ・ツグミがたくさん観察できた。
- ・冬芽、アジサイ、サンシュユが膨らんできた。
- ・シナマンサクの開花を観察できた。
- ・木肌がツルツルのサルスベリ、小さなへこみに小さなマユを観察できた。
- ・アマナの芽生えを観察した。花の開花が楽しみです。

観察会の様子

頭上にいたアオバト♂



ニシキギの冬芽



大きく膨らんだサンシュユの花芽

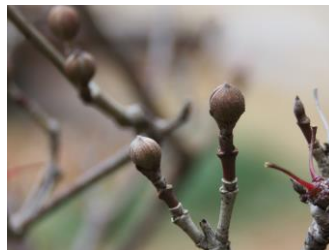
雪柳の枝に
アオバトの羽



咲き始めたシナマンサク



ヒノキバヤドリギの実



アマナ(ユリ科)の芽生え



八重の梅の花が開花 すぐ傍で観察したカワセミ



原 茂 シロハラ、あおばと、カワラバトなど、色々な野鳥が見れました。

原 桂子 アジサイ、アマナの新芽、梅の花など、春の近づきを感じました。

冬の自然観察の魅力

2月15日、曇り空の下春日公園、枯れ葉を踏みしめながら、そろそろ春探しかな

いろんな種類の落ち葉を集めて並べてみる

地面が色鮮やかな落ち葉で彩られた

葉の形や模様の違いから、樹木の名前や特徴を知ることができる

自然の奥深さに感動した

特に印象的だった「スズカケノキ」の独特な特徴について

葉の根本がキャップのようになっていて、芽を保護する役割を果たしていることを知った

葉が落ちると現れる芽は、春の準備を感じさせる。また、迷彩模様のような木肌は、成長に伴って皮が剥がれ落ちるそう

自然の巧妙な仕組みに驚かされた。他にも、様々な形をした葉や枝、個性豊かな冬芽など、発見がたくさんあった。

冬の自然観察の魅力は、植物が休眠しているように見えても、実は春の準備を着々と進めていることを実感できる。

厳しい寒さの中で力強く生きる植物の姿に生命の力強さを感じ、春への期待感が高まっていく

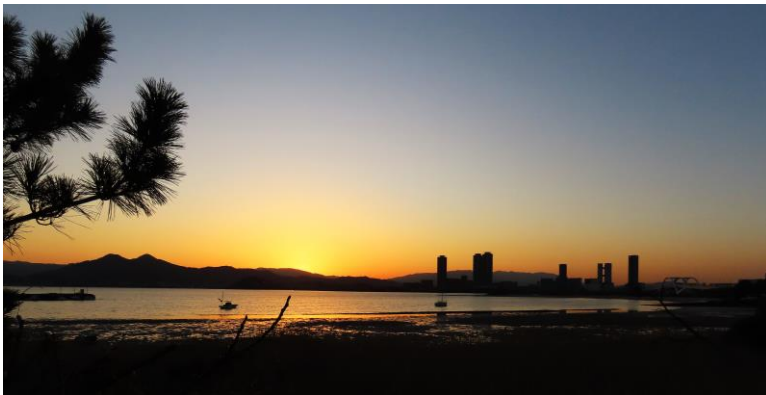
自然観察の楽しい魅力をまた実感した一日になりました。岩井結友美



落ち葉の種類探し

会員からの投稿 (1) 秋山芽生子 博多湾の東部を中心に活動中

2/14 の夜明け (雁ノ巣にて)



落ち葉の中にアオジ♂



干潟で休息するミヤコドリたち (2/19)



会員からの投稿 (2) 窓越しの自然観察 61 ～ 一期一会 35 ～

向こうの楠の枝で、風も無いのに葉が一枚だけ揺れている! 何だろうとデジカメを通してしてみると、どうやら小鳥がせっせと幹の割れ目を突いている。餌があるらしい。離れた位置だから難しいと思ったが、硝子戸の僅かな隙間から動き回る小さな姿をねらう。何とか、撮せました。今冬の積雪は、15cm 程積もったのはわずか1日、豪雪の北日本の厳しさとの違いが地球温暖化の影響をモロに現しています。蛇足ながら、積雪に僅かな朝の光、それなりに美しいと思う、この位の積雪だと。



(ダムサイト住人 2025/3/2 記)

会員からの投稿 (3) コゴメイヌノフグリ (ゴマノハグサ科 越年草) のはなし

道端や畑のへりにオオイヌノフグリが咲き始めると春の気配を感じますが、その仲間であるコゴメイヌノフグリはヨーロッパから最初に入手した小石川植物園と、そこから逸出した東京都内は至る所に生えているそうですが、全国的にはまだ知られていない所も多いようです。15年ほど前、私はある植物の会の人からこのコゴメイヌノフグリの5cm程の茎をいただきポットに挿してみました。さすがの外来種です。たった1本から大変な状況になってしまいました。ものすごい繁殖力で我が家を中心に道路際、空き地、竹やぶのまわりなど3月になると小粒の白い花が一斉に咲き、日差しがあるときは結構かわいいです。在来種のイヌノフグリも同じ時期に咲きますが、コゴメに居場所を乗っ取られないように周りに生えてくるのはせっせと抜いています。これから先フラサバソウやタチイヌノフグリなど仲間たちが順次咲き始めます。溝口澄子



会員からの投稿 (4) 志賀壮史



3月8日、福岡市早良区の室見川沿いの橋の下でイワツバメと巣を見ました。入れ替わり立ち替わり出入りする様子、スマホで撮るのは難しいですね、笑! 赤い丸の中にイワツバメがいます。巨大構造物の下でたくましく生きてました。

新しく自然観察指導員として活動を始めた新井恭子さんからの投稿です。

「秋月自然体験協議会」は、旧秋月藩城下町の「自然と人々の暮らし」を紹介するための体験プログラムを開発・提供し、自然環境を保全維持し、「持続可能なまちづくり」を促進する目的で、2025年1月に発足いたしました。2月末に、九州大学流域システム工学研究室の皆さんと協議会会員とで、昨年同研究室が作った殿様湿地（人工の沼）の生物と植物を観察しました。○昨年、研究室のみなさんが、休耕田に生物が生息しやすい殿様湿地（人工の沼）を作りました。

○ここにたくさんの植物や生物が生まれ、育ってくれるのをみんなで見守っています。

○城下町には、江戸時代に造られた石造りの水路が張り巡らされていて、今でも防災・防火に役立ち、サワガニ、カエル、蛇などが石垣の間に住んでいます。



○人工の沼の中にアカガエル科の卵を見つけました！

秋月自然体験協議会 事務局長 新井恭子（自然観察指導員）

参加者募集のお知らせ

九州大学流域システム工学研究室が数年前から秋月の自然環境保全の目的のため、江戸時代の治水システムが現在も機能している野鳥川流域の環境調査と保全活動を行っています。秋月自然体験協議会では、その研究室と連携して、「エコツアー」を企画することになりました。そこで、この企画の内容をより楽しいものにするため、里山の自然の良さを伝えられるトピックを探してくださる自然観察指導員の方を募集いたします。

4月26日（土）13：00～15：00（秋月博物館前 12：50集合）

当協議会会員が秋月城下町を歩きながら自然環境を生かした野鳥川の江戸時代の治水・防災システムをガイドいたします。4月は新緑で里が一番美しい時期になります。多くの皆様のご参加お待ちしております。



秋月自然体験協議会 事務局長：新井恭子

申し込み先・問い合わせ：kyokoarai59@gmail.com

（メールで秋月の観察会参加希望・氏名・参加人数

を書いてお送りください。）

会報くすのき2月号の感想

くすのき2月号有難うございました。

急に春が来たかと思える日があるかと思えばいきなり寒気が襲って来たり、情緒不安定な気候のこの冬です。2月に入ってからほとんど毎晩布団の中でフクロウの声を聴いています。

ホホー ゴロスケホーコー ボロキテホーコー と鳴いているそうですが🐼

溝口澄子

鳥好きの編集係としては、羨ましいです。

桜の開花

漸く河津桜、開花が始まりました。城南区茶山の公園にある河津桜、たくさんの蕾から開花を観察しました。写真は3/10の午後、撮影しました。これから、急速に開花が始まろうとしています。皆さんの地域の様子はいかがですか。田字草



お知らせ

自然観察指導員の講習会が、お隣の熊本県で、11/22(土)～11/23(日)に、国立阿蘇青少年交流の家で開催される予定です。詳細は、分かりしだいお知らせします。

会費振込について

会計年度は6月から翌年5月末までです。会員の皆様、2024年度会費を、各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。

年会費:2000円 郵便振替口座:福岡県自然観察指導員連絡協議会 [01760-9-15783](tel:01760-9-15783)

定例会に参加してみませんか

次回の定例会は、令和7年4月11日(金)午後2時より事務局で行います。令和7年4月号の原稿は、4/8(火)までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

編集後記 2025年2月の定例発送会は、藤川渡と田村耕作が、それぞれの自宅で作業。

今、アオバトを観察し撮影することにはまっています。3/4(火)春日公園にて野鳥観察会を行いました。天気予報で嵐のような雨、当日、小ぶりの雨、傘をさして、9名の参加で、観察会を実施。こういう雨の日、アオバトの動きが活発になると、経験から思っていたので、大当たりでした。公園の森がよく見える場所で、1度に85羽を数えた。葉で見えない辺りを考慮して、100羽以上はいるかなと想像。一度にこれだけの数は初めてのことでした。楽しいです。



2025年3/11 春日公園にて撮影(田字草)